

フマキラー株式会社

2024年3月期 決算説明資料

日用品質



2024年6月13日

I. 決算概要

II. 今期予想と今後の展開

III. 補足資料

I. 決算概要 (2024年3月期)

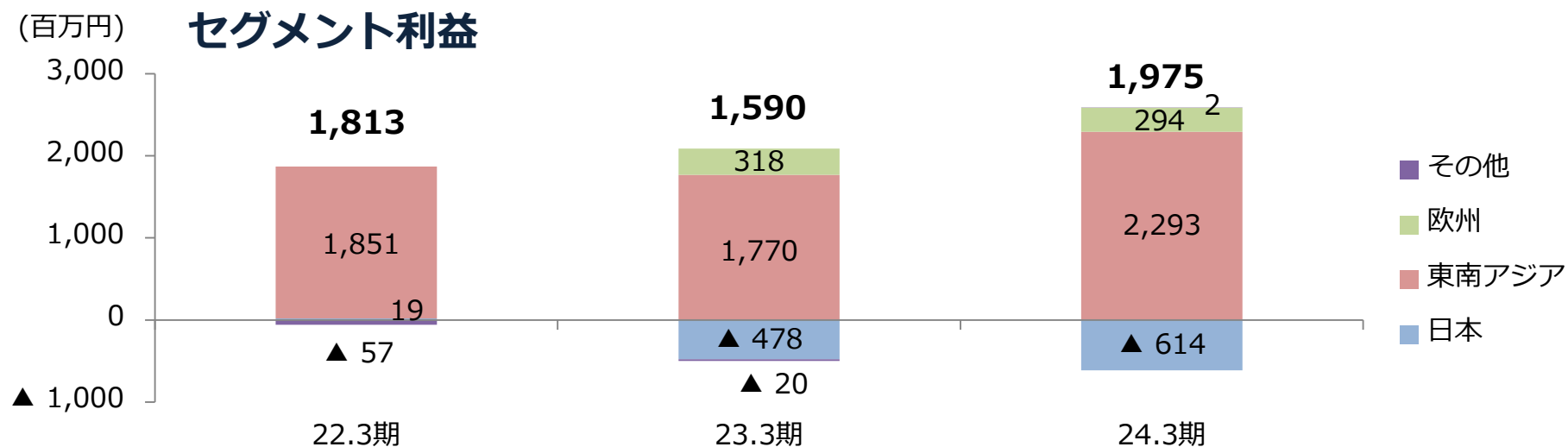
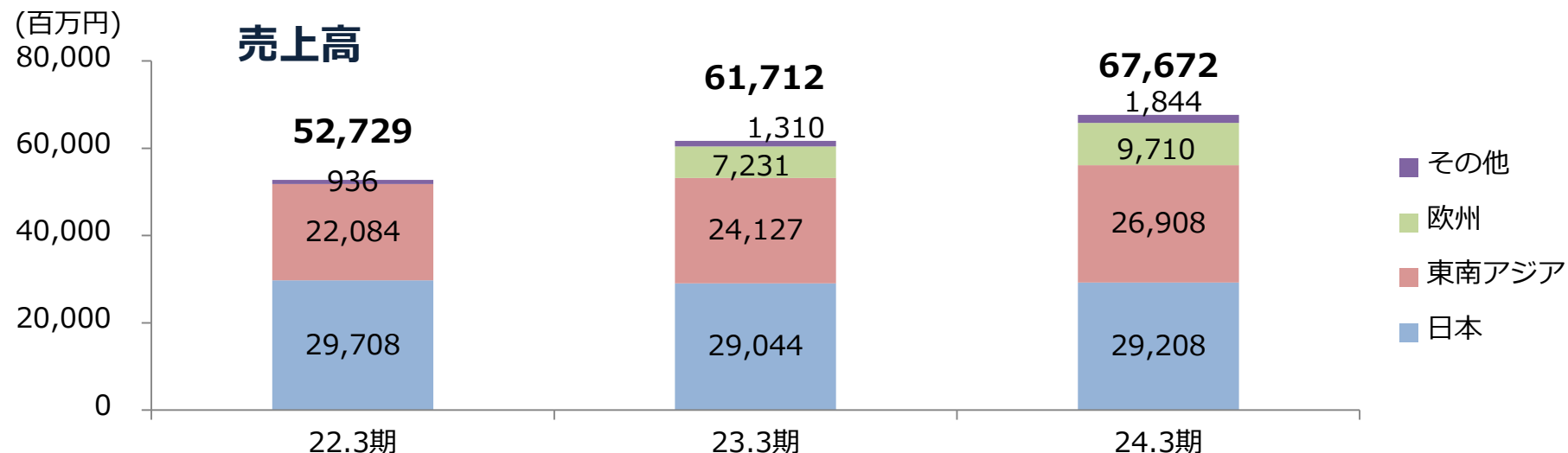
決算概要－連結売上・利益

- ➡ 円安により海外売上が拡大
- ➡ 海外は価格転嫁を継続し原価率上昇は落ち着く
- ➡ 当期純利益は単体の税金費用増加により計画未達

	23.3期 実績		24.3期 2Q時修正計画		24.3期 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	計画比 (%)	前期比 (%)
売上高	61,712	100.0	67,000	100.0	67,672	100.0	101.0	109.7
売上総利益	17,741	28.7	20,000	29.9	20,011	29.6	100.1	112.8
営業利益	1,894	3.1	2,100	3.1	2,403	3.6	114.4	126.9
経常利益	2,315	3.8	2,600	3.9	2,798	4.1	107.6	120.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	668	1.1	1,500	2.2	1,377	2.0	91.8	206.1
1株当たり利益	40.58円		91.01円		83.58円			

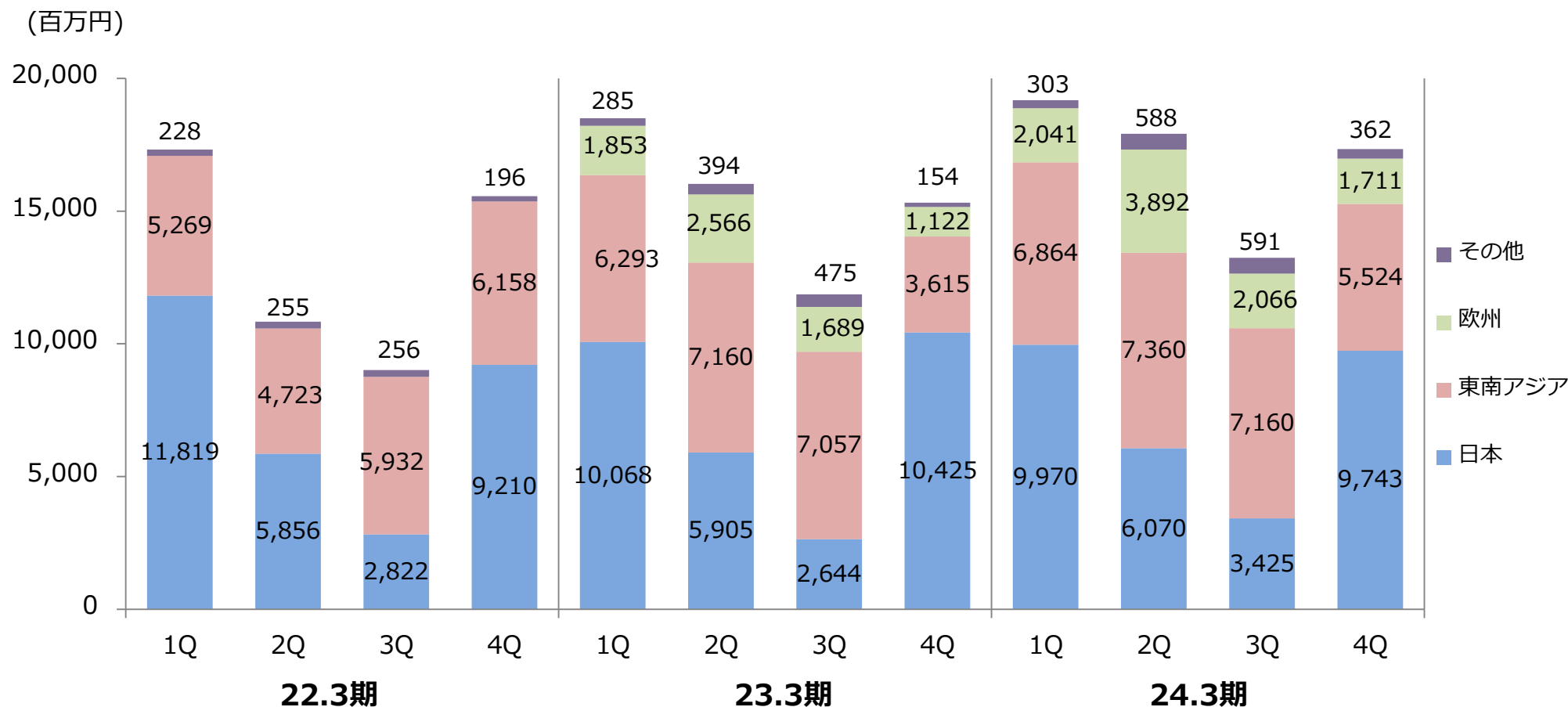
決算概要－セグメント情報

- ➡ 日本は、売上はほぼ前期並みも、円安による仕入れコストアップが続く赤字が続く
- ➡ 東南アジアは、現地通貨ベースで堅調に推移、円安の影響も加わり増収増益



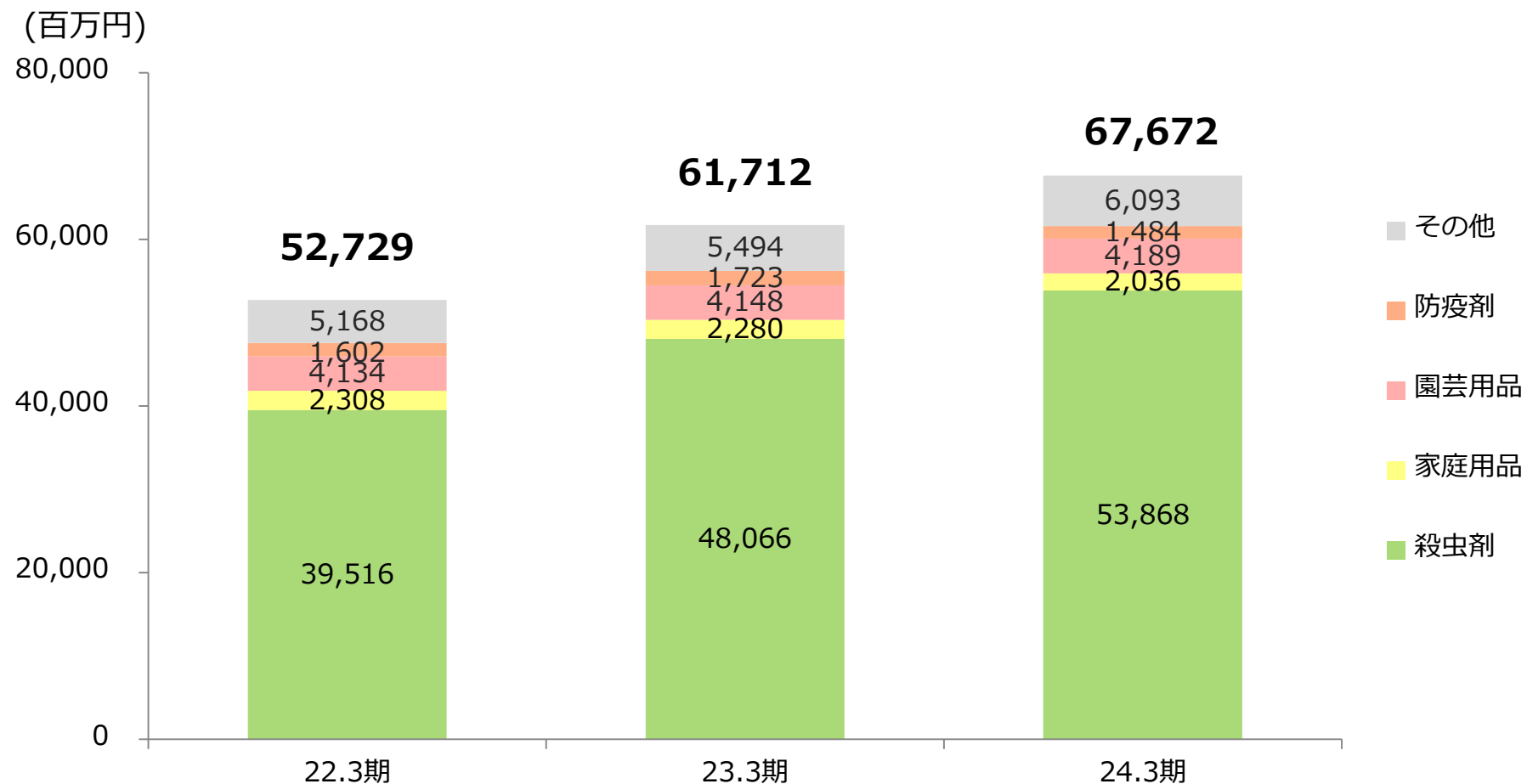
決算概要－四半期別セグメント別売上

- ➡ 東南アジアは現地通貨で伸長し、円安の影響も加わり増加
- ➡ 日本は3Q残暑の影響で売上増も、4Qは天候不順による市場縮小で減少



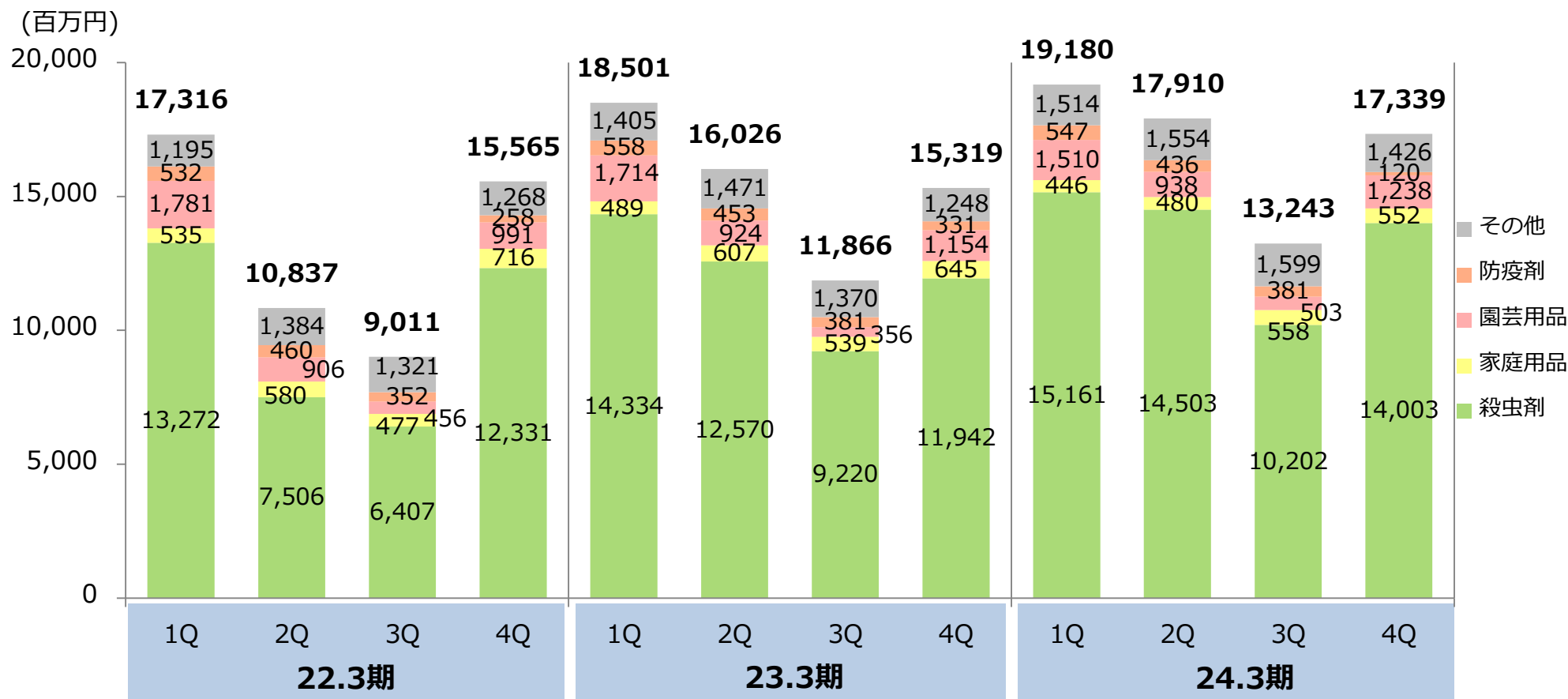
決算概要－ジャンル別売上

- ➡ 過去最高売上を達成
- ➡ 殺虫剤、園芸用品が伸長、家庭用品は減収



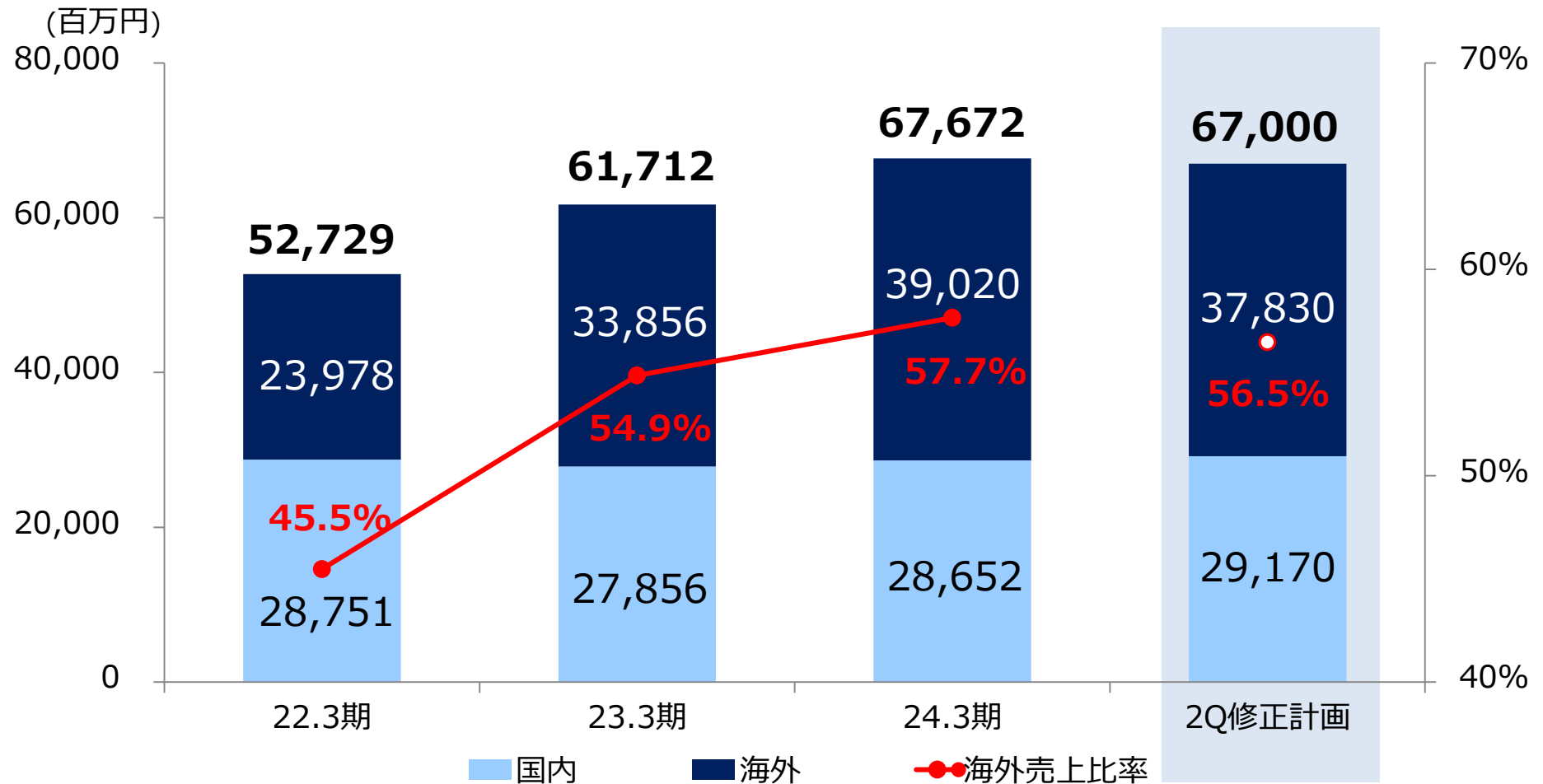
決算概要－四半期別ジャンル別売上

国内、海外ともに殺虫剤が伸長



決算概要－国内/海外売上高

- ➡ 国内は、殺虫剤が伸長
- ➡ 海外は、現地通貨ベースで堅調、円安の影響も加わり大きく増加
- ➡ 海外売上比率は引き続き50%超の57.7%



➡ 為替による業績への影響は、売上高で+2,999百万円、営業利益で▲52百万円

為替変動による売上・利益増減額

(百万円)

	売上高	営業利益	備考（営業利益）
フマキラー	+115	▲222	海外売上+11、海外仕入▲234
海外子会社	+2,884	+170	インドネシア+109、アジア+20、ミャンマー+23、インド▲1、メキシコ+3、イタリア+17
合計	+2,999	▲52	

期末レート

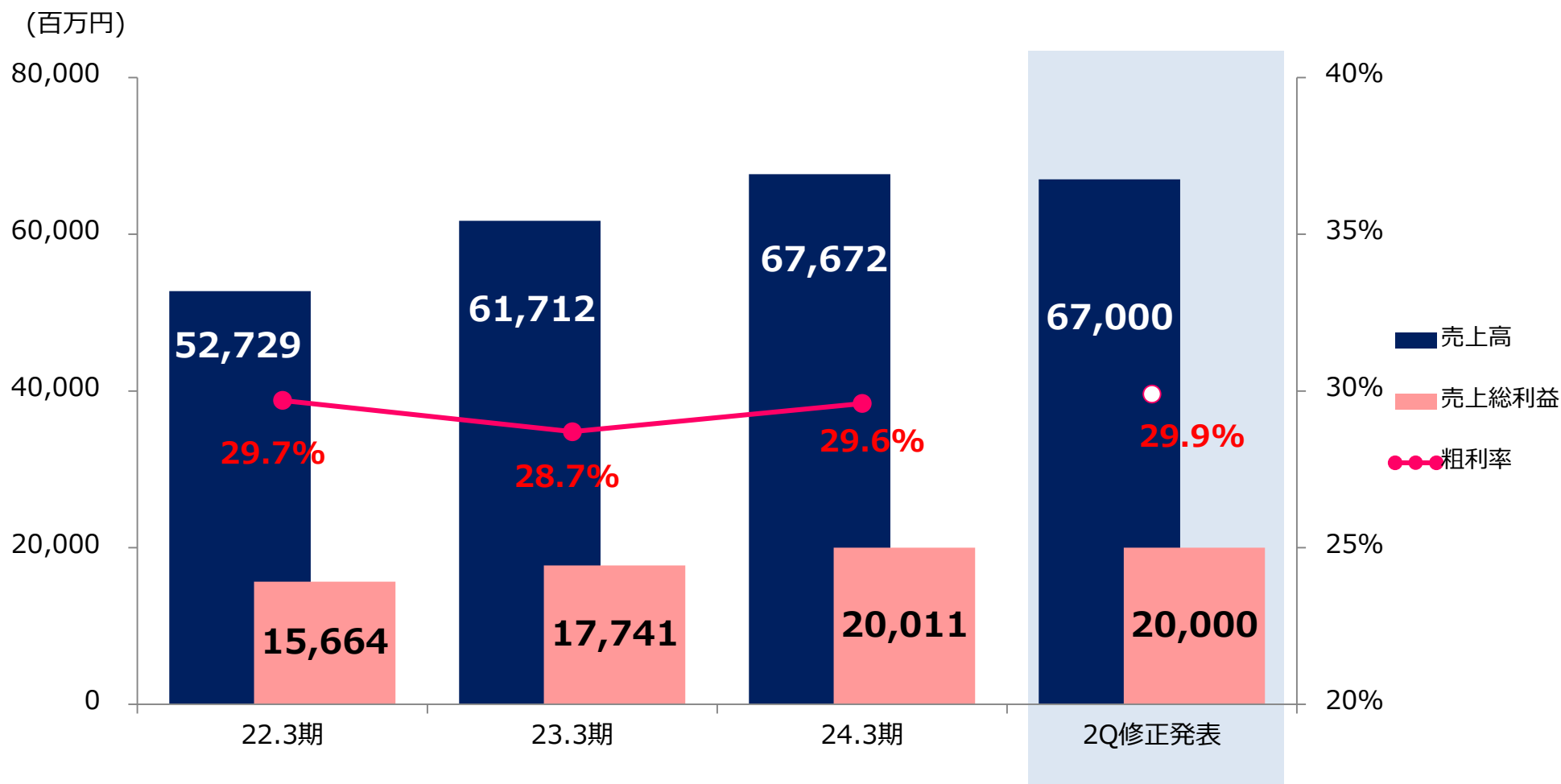
期末	21年12月	22年12月	23年12月
円/100ルピア	0.81	0.850	0.920
円/リングgit	27.59	30.09	30.86
円/ルピー	1.54	1.63	1.82
円/ペソ	5.59	6.81	8.35

期中平均レート

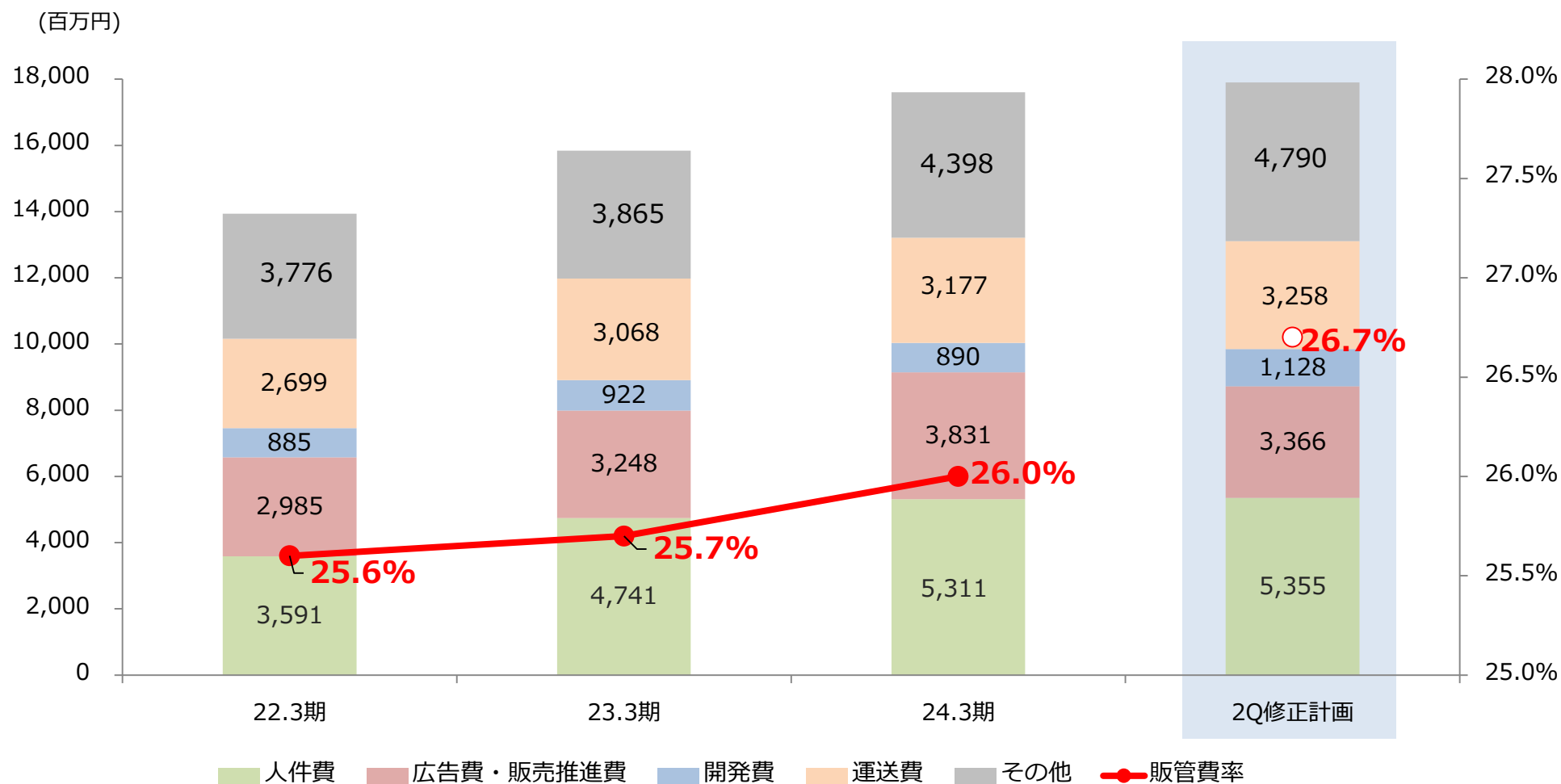
期中平均	22.3期 (21.4-22.3)	23.3期 (22.4-23.3)	24.3期 (23.4-24.3)
円/ドル	112.15	134.66	145.16
円/ユーロ	131.01	141.38	158.99

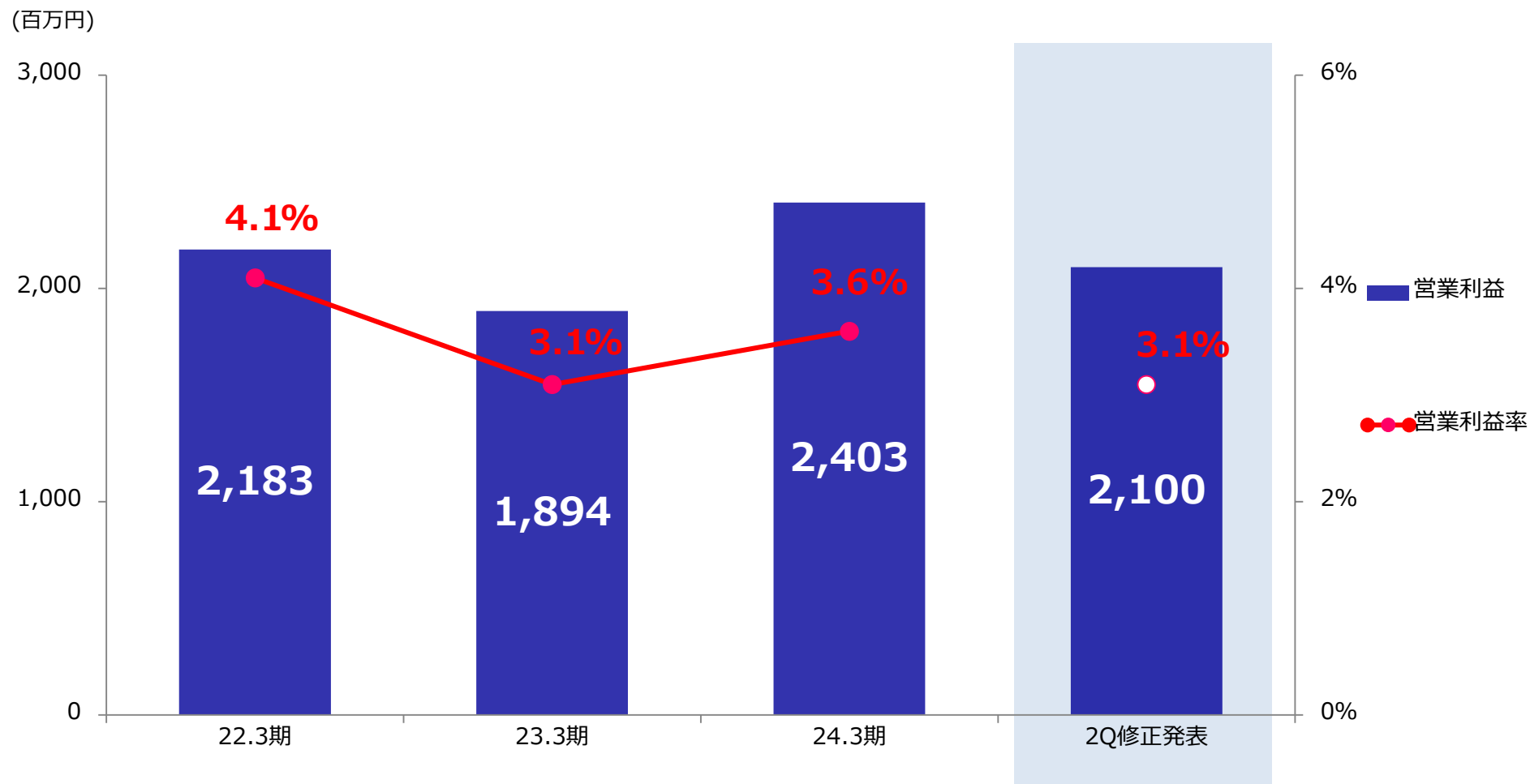
決算概要－売上総利益（粗利率）

➡ 売上総利益率は前期比0.9pt上昇。計画比では0.3pt悪化

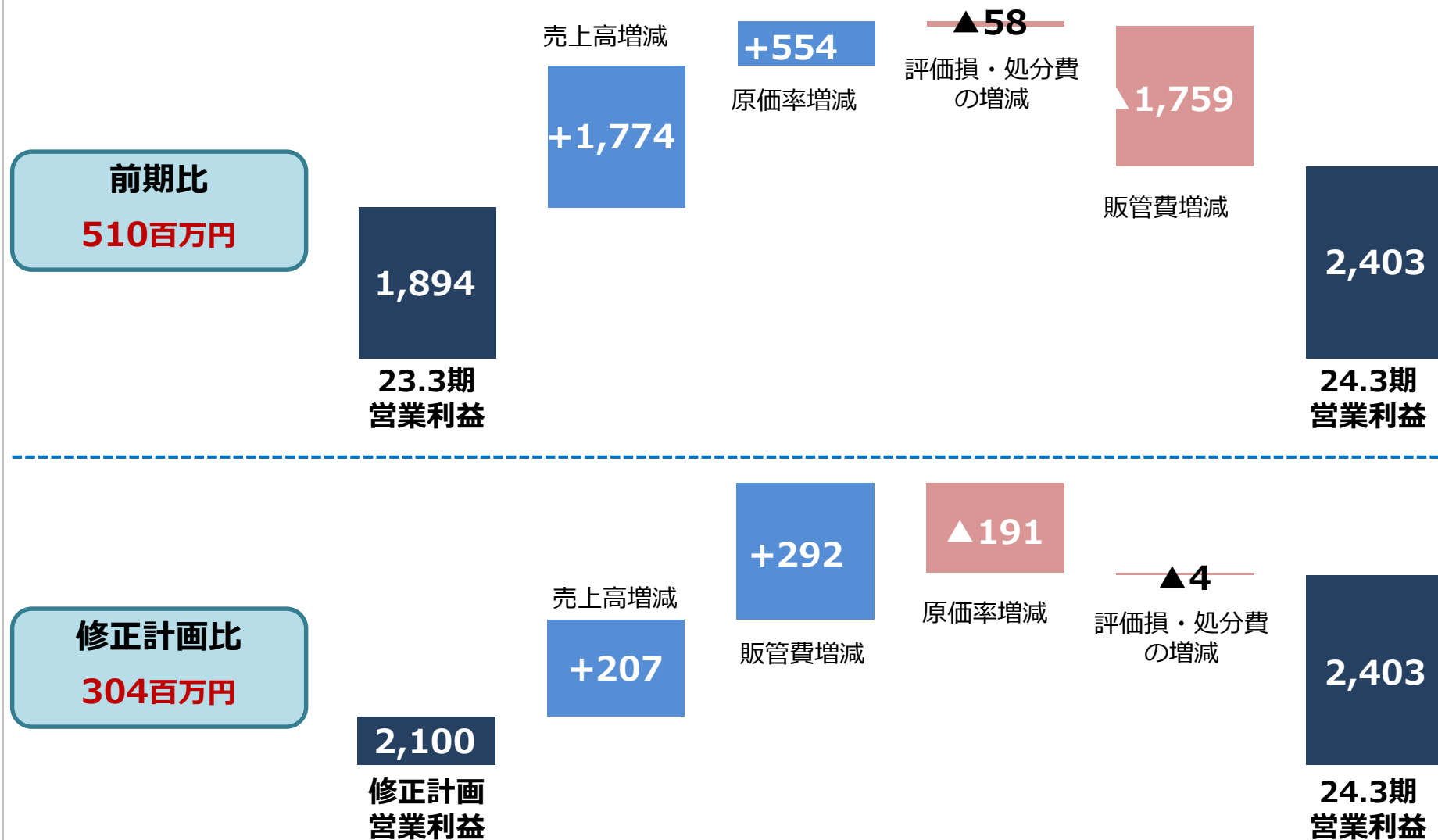


➡ 円安の影響を受け全体的に増加



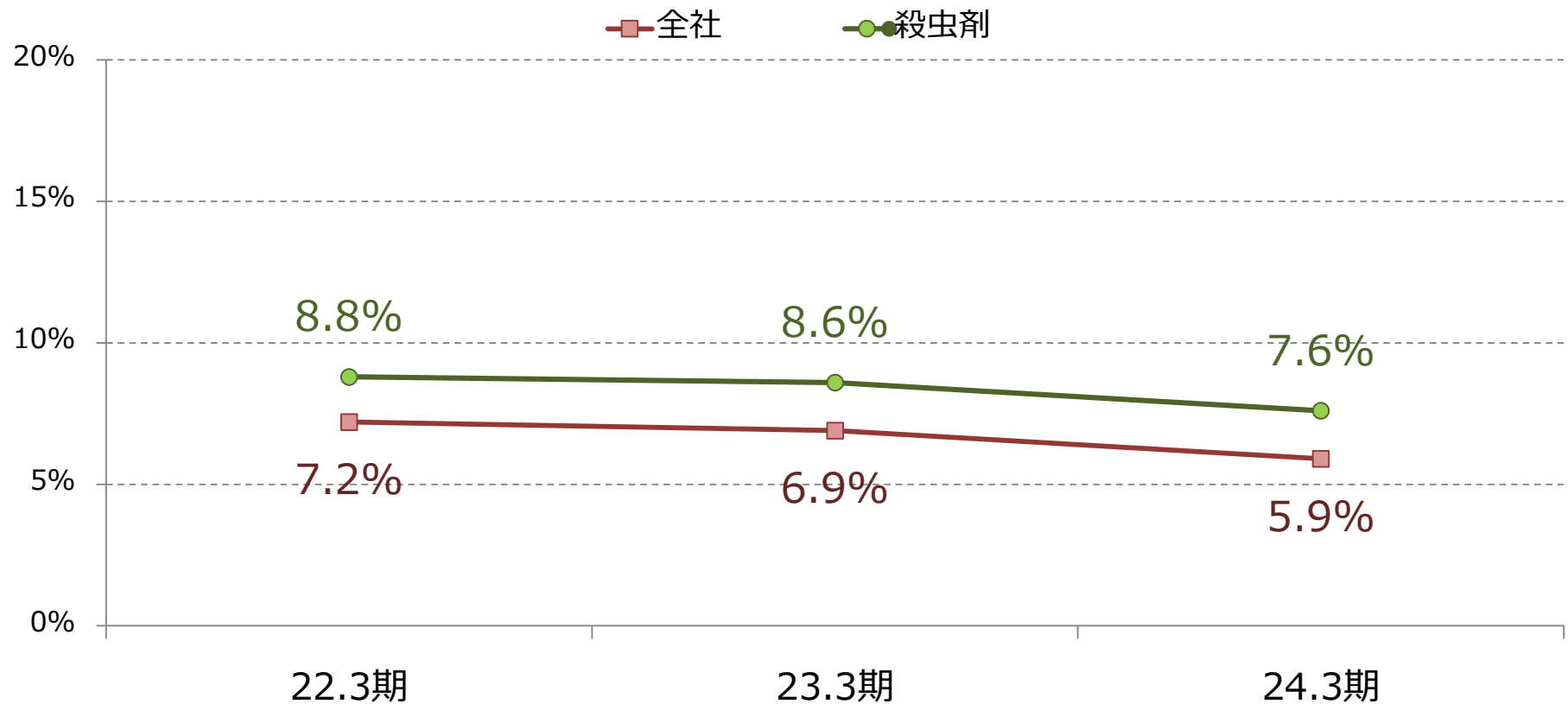


決算概要—営業利益増減要因



➡ 残暑が長引き販売期間が延長したことにより、殺虫剤の返品率は1 pt低下

返品率（フマキラー単体）

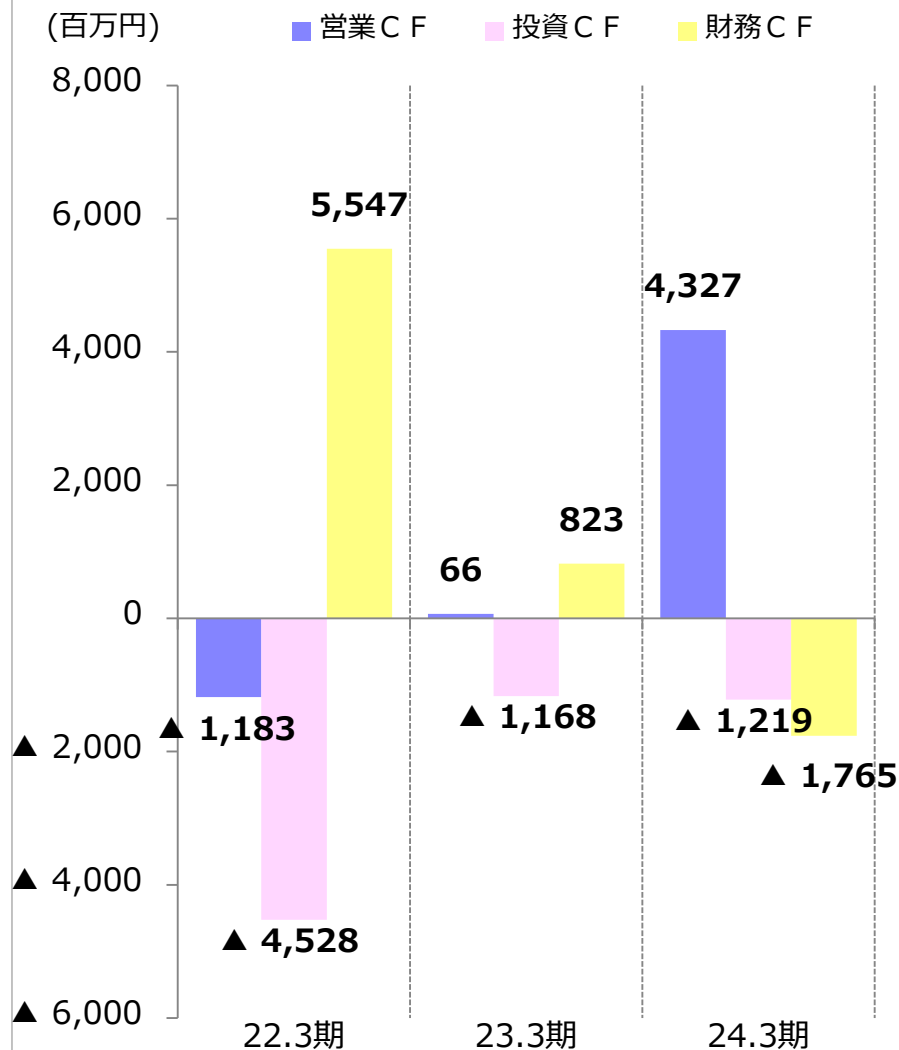


決算概要－貸借対照表

	23.3期末	24.3期末	対23.3期末増減 (単位：百万円)	
流動資産	38,193	42,387	4,194	
現金及び預金	6,919	8,874	1,955	
売上債権	16,336	17,743	1,407	
たな卸資産	12,120	13,249	1,129	
固定資産	19,177	19,978	801	
有形固定資産	10,225	10,275	49	
無形固定資産	3,155	3,123	▲ 32	
投資有価証券	5,795	6,580	784	単体 +374
資産合計	57,370	62,366	4,996	
流動負債	31,512	33,105	1,593	
買入債務	9,039	10,943	1,904	単体 +949
固定負債	2,968	3,658	690	
有利子負債	15,892	14,983	▲ 909	単体 ▲1,238
負債合計	34,480	36,763	2,283	
純資産	22,890	25,602	2,712	
資本金	3,698	3,698	0	
負債純資産合計	57,370	62,366	4,995	

決算概要－キャッシュ・フロー

(単位：百万円)



	23.3期		24.3期
営業キャッシュフロー	66	→	4,327
税金等調整前当期純利益	1,715	→	2,766
減価償却費	1,463	→	1,464
売上債権増減額(▲は増加)	▲2,197	→	▲1,407
棚卸資産増減額(▲は増加)	364	→	▲1,128
仕入債務増減額(▲は減少)	▲578	→	1,903
未払金増減額(▲は減少)	▲408	→	▲41
投資キャッシュフロー	▲1,168	→	▲1,219
有形固定資産の取得	▲1,064	→	▲1,153
財務キャッシュフロー	823	→	▲1,765
短期借入金の純増減額	1,596	→	▲998

Ⅱ. 今期予想と今後の展開 (2025年3月期)

24.3期総括

国内

- 値上げによる粗利確保を図るも、原材料価格の高止まりによる原価増を吸収できず
- 為替が期初計画前提に対し大きく円安となり、仕入価格が上昇し粗利を押し下げる

東南 アジア

- インドネシアは着実に成長、現地通貨ベースでも増収
- ベトナム、タイ、ミャンマーについても現地通貨・円貨ともに増収
- マレーシアは現地通貨ベース、円貨ベースともに減収

欧州

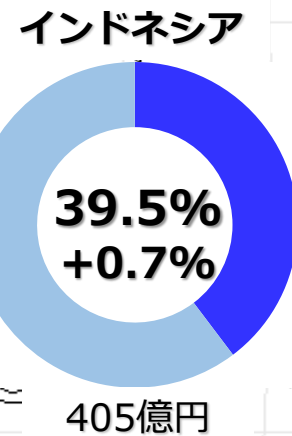
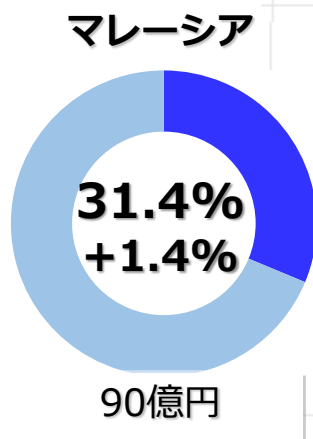
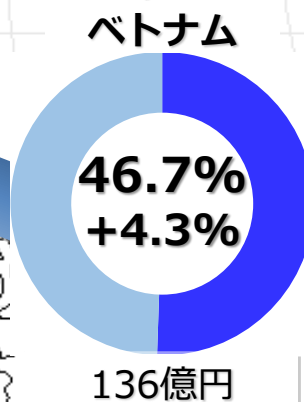
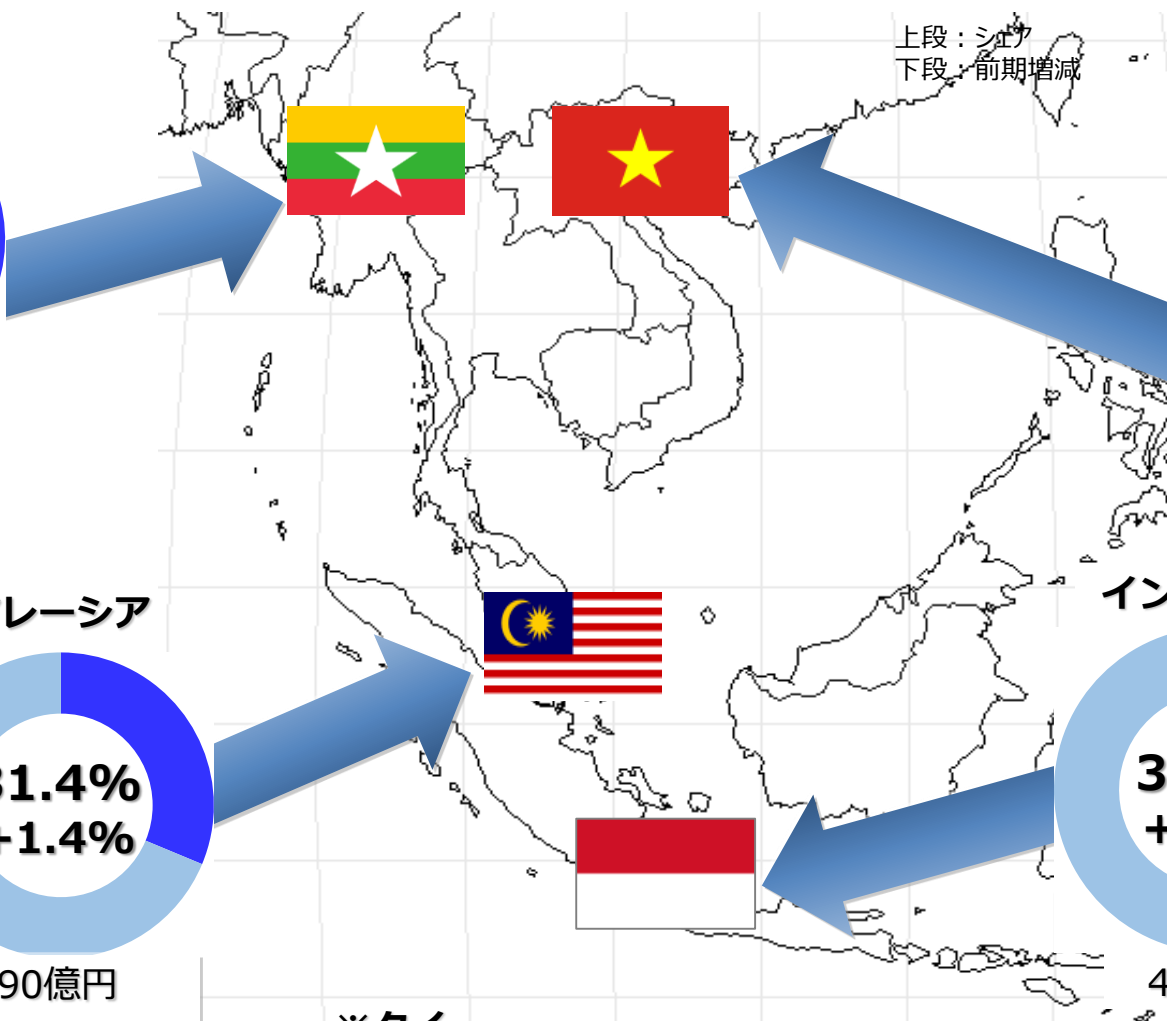
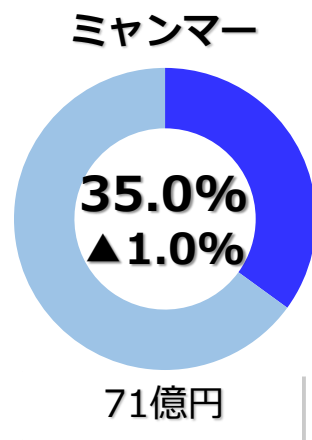
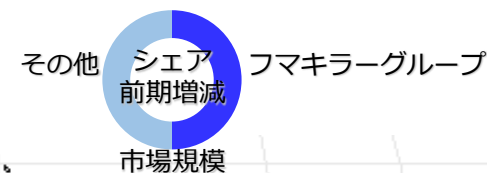
- フマキラーヨーロッパは事業の本格化2年目で大幅増収
- ザピは殺鼠剤市場が上半期は低迷したが、下半期は回復基調

国別売上高 前年同期増減 (23年1月-12月)

	インドネシア	ベトナム	マレーシア	タイ	ミャンマー	イタリア
現地通貨	↗	↗	↘	↗	↗	↗
円貨	↗	↗	↘	↗	↗	↗

前期の振り返り-ASEANにおけるシェア

フマキラーグループの殺虫剤シェア

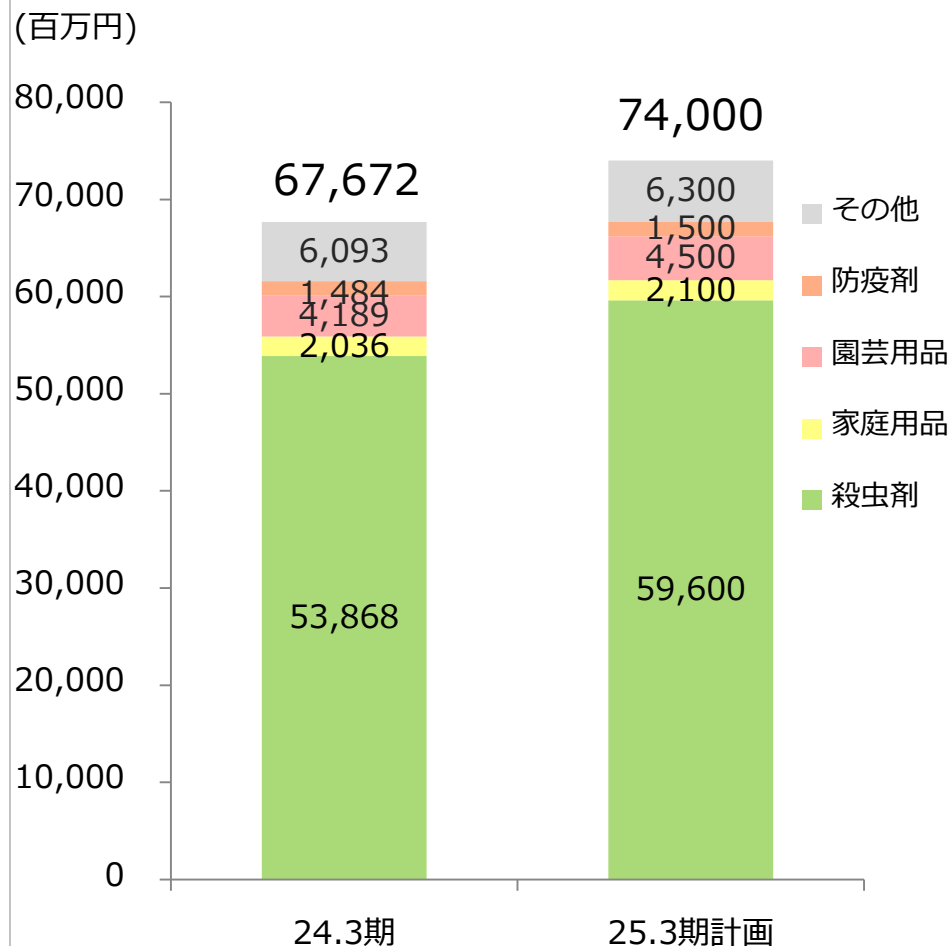


※タイ
シェアデータ非算出

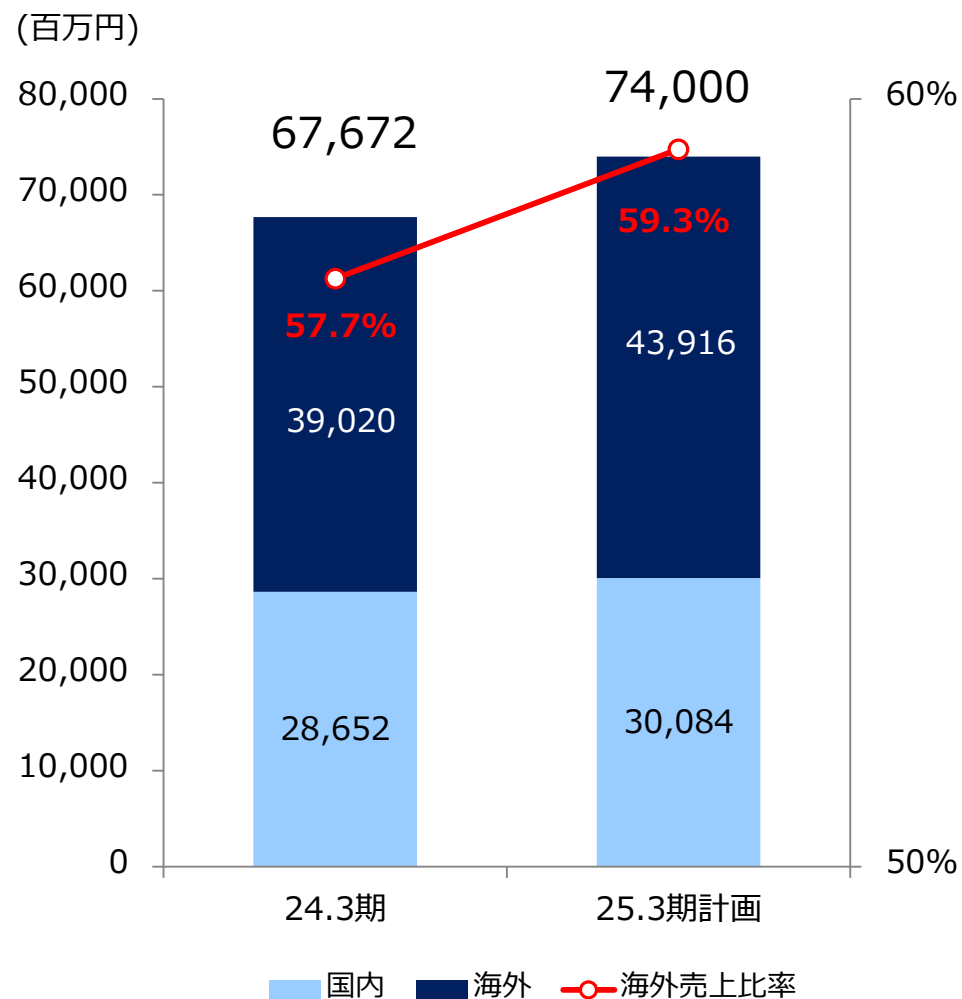
- 売上高は、国内・海外ともに引き続き伸長を計画し増収
- 国内は円安による原材料高は残るが、海外ではひと段落し連結では原価率改善を見込む
- 販管費は、売上拡大もあり増加を見込む

	24.3期実績 (百万円)	25.3期計画 (百万円)	対前期増減額 (百万円)	前期比 (%)
売上高	67,672	74,000	+6,328	109.3
売上総利益 (粗利率)	20,011 (29.6%)	22,600 (30.5%)	+2,588 (+0.9pt)	112.9
販管費	17,607	19,800	+2,192	112.5
営業利益	2,403	2,800	+396	116.5
経常利益	2,798	2,900	+101	103.6
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,377	1,560	+182	113.2

ジャンル別売上高



国内/海外売上高



①原材料価格

- 国内 殺虫剤を中心に更なる値上げ実施を検討(2025年年初より)
- 海外 国によって状況が異なるが、原材料価格の状況に応じて値上げを実施

②国内販売強化

- 殺虫剤 好調なEC販売の更なる強化
- 園芸用品(新製品投入)の販売強化

③海外事業を軸とした成長戦略

- 東南アジア各国での殺虫剤の更なるシェアアップ
- 欧州における販路拡大、フマキラーヨーロッパとザピとの連携強化



東南アジア

インドネシア、マレーシア、タイ、
ベトナム、ミャンマー

生産拠点：8 開発研究拠点：2

- 30年以上前に進出したインドネシアを軸に各国でシェアを確立
- フマキラーグループの生産拠点としての役割も担う

欧州

イタリア

生産拠点：1 開発研究拠点：1

- ザピ、フマキラーヨーロッパの2社体制
- 欧州市場の販路開拓をさらに強化

サステナビリティへの取り組み



「企業活動そのものがSDG s」を合言葉にプラスチック削減やモーダルシフトで環境負荷軽減を図っています。

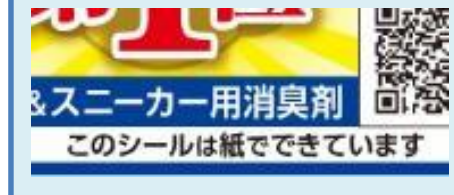
バイオマス資源の活用

バイオマス複合素材容器を採用。容器の設計も見直し、軽量化することでプラスチック量を当社従来品と比較し約55%削減



紙製POPシールの採用

自社商品のPOPシールを紙製に変更しプラスチックの使用料を削減



エコレールマークの取得

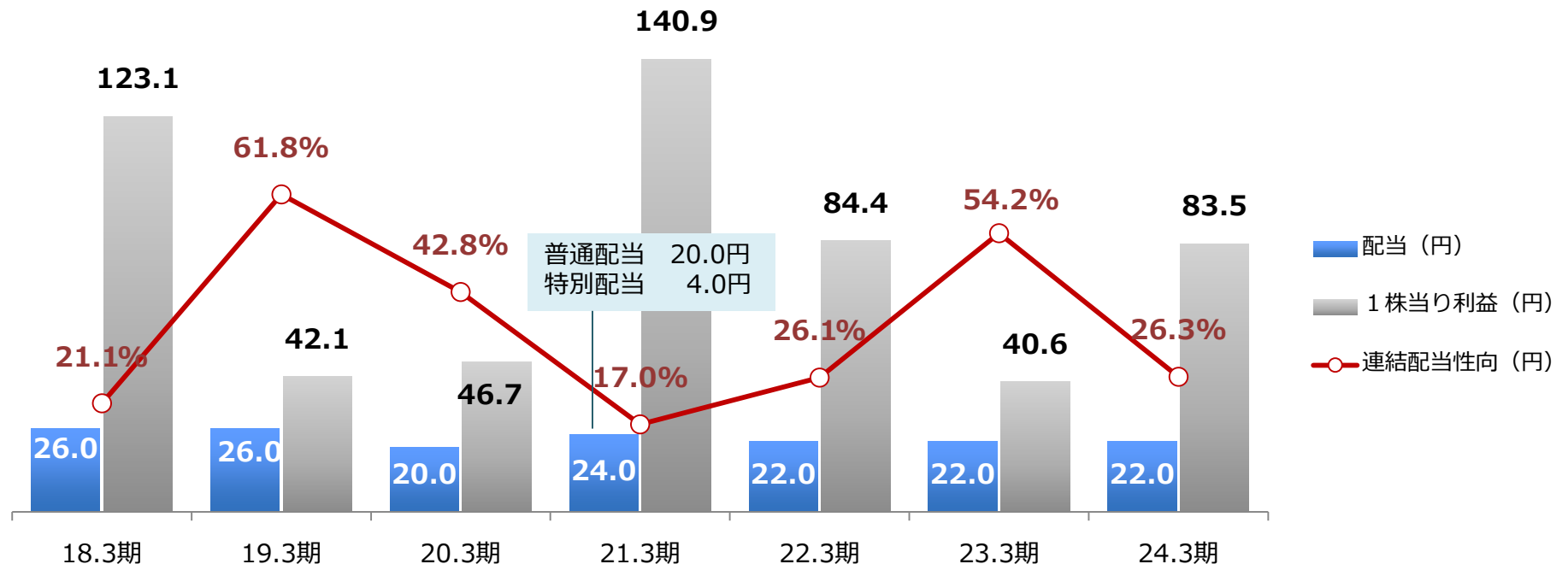
鉄道貨物輸送によるCO2排出量削減による「環境負荷低減」の更なる推進



配当に関する基本方針

株主様に対する利益還元として、業績・将来の事業展開や内部留保などを総合的に勘案し、安定的かつ継続的な配当を行っていくことを経営の重要課題として位置づけています

配当及び連結配当性向の推移





本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

《本資料に関するご照会先》

フマキラー株式会社

取締役 管理本部長 郷原 和哉

TEL : 0829-55-2111

FAX : 0829-55-0712

E-mail : fmk-ir@fumakilla.co.jp

Ⅲ. 補足資料

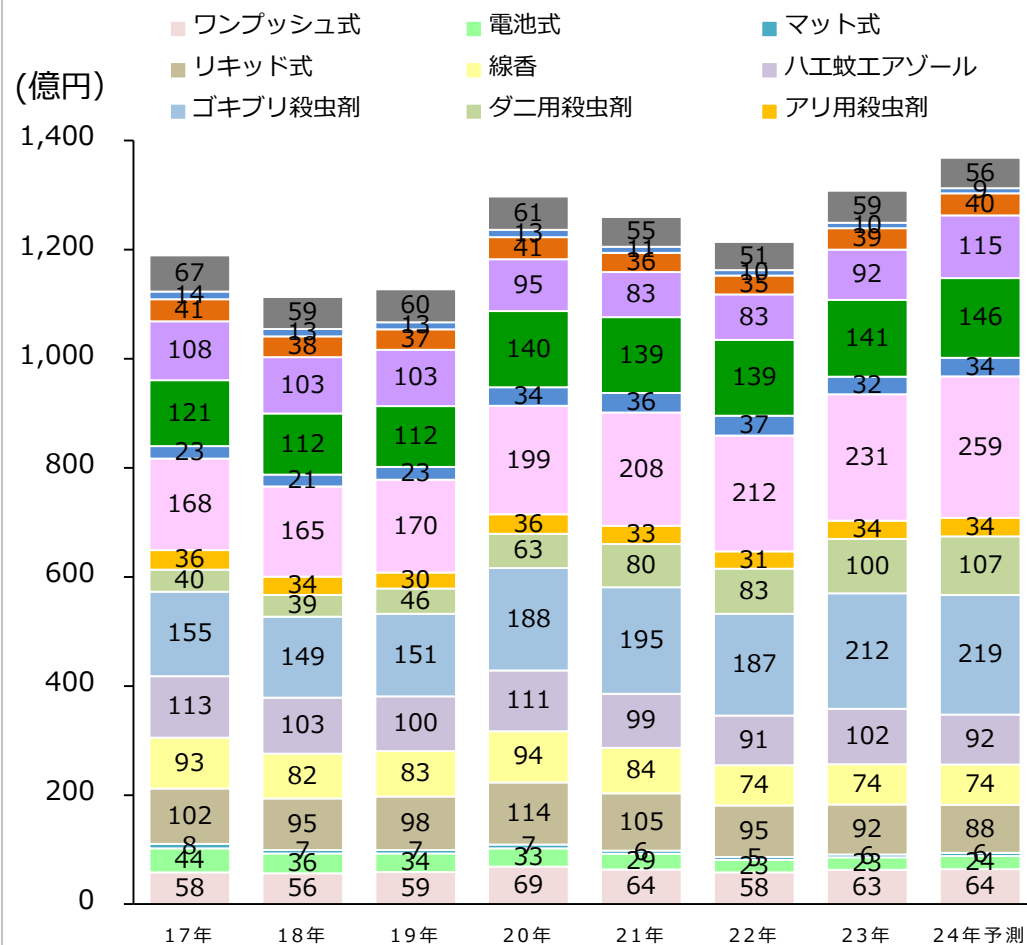
ジャンル別 売上高増減要因

24年3月期ジャンル別 売上高前期増減要因

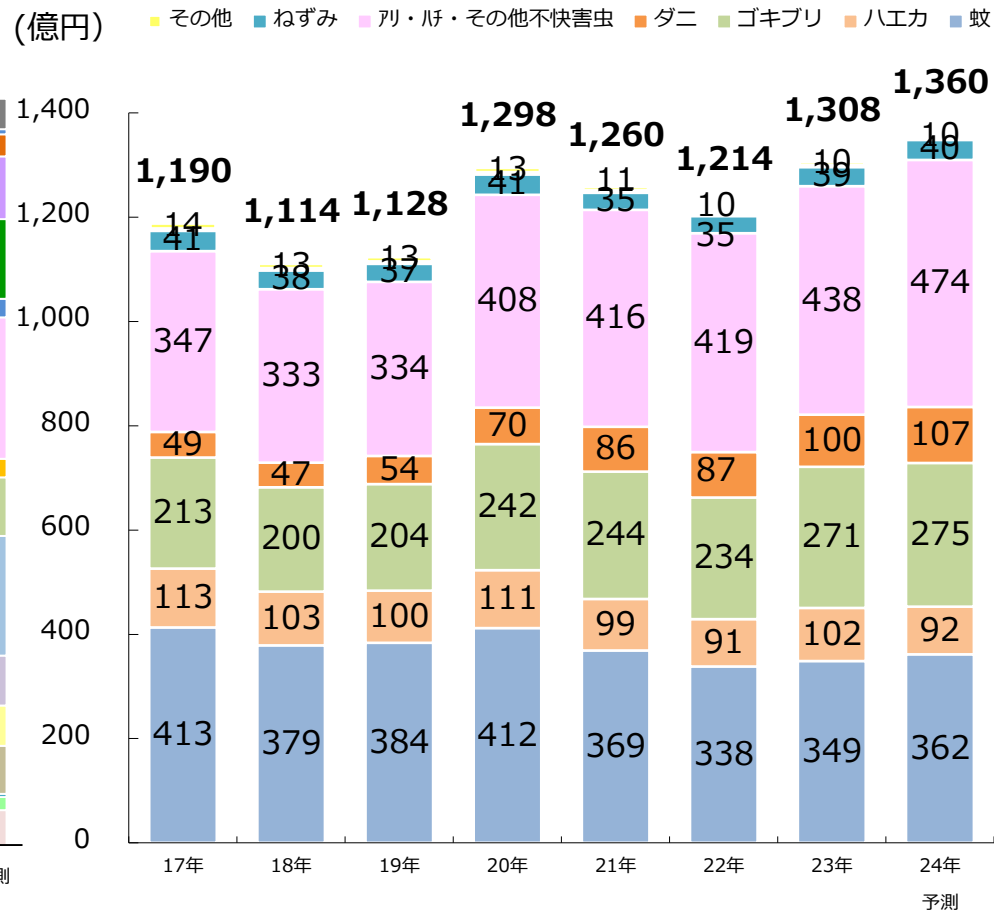
ジャンル		前期比	要因
殺虫剤	国内	105.0%	<ul style="list-style-type: none"> 3月下旬は低温で落ち込むも、上半期が好調かつ残暑が長引き販売期間の長期化で返品減もあり増
	海外	115.1%	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジアの主要国で現地通貨ベースで堅調 欧州もフマキラーヨーロッパが現地通貨で大幅増 為替の影響(円安)を受けたことから円貨が増加
家庭用品		89.3%	<ul style="list-style-type: none"> アルコール除菌剤の売上が減少
園芸用品		101.0%	<ul style="list-style-type: none"> 除草剤が好調、子会社FSブルームの売上が伸長
防疫剤 その他		105.0%	<ul style="list-style-type: none"> フマキラー・トータルシステム(株)のシロアリ施工工事が引き続き好調 防疫剤は減少
合計		109.7%	

家庭用殺虫剤市場規模－国内市場

国内・家庭用殺虫剤市場規模 年間約1,360億円（小売ベース）



害虫別殺虫剤市場規模

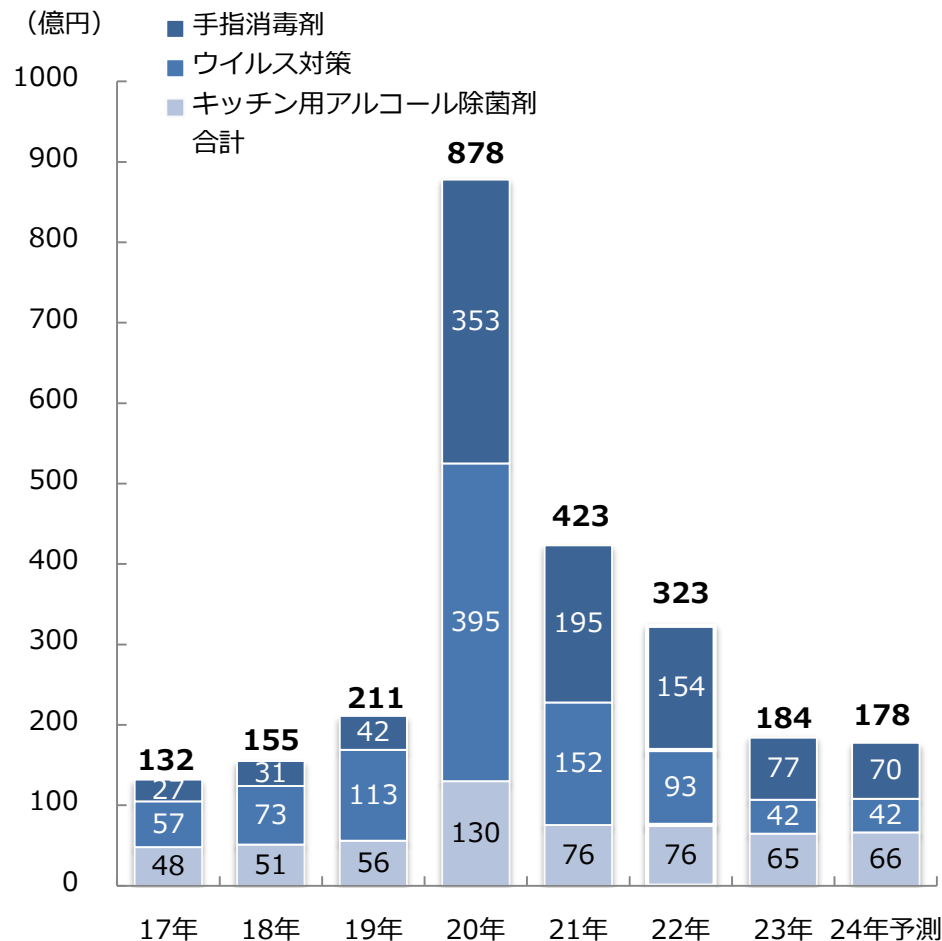


※データ出典インテージ社SRI+(1月～12月末端価格)

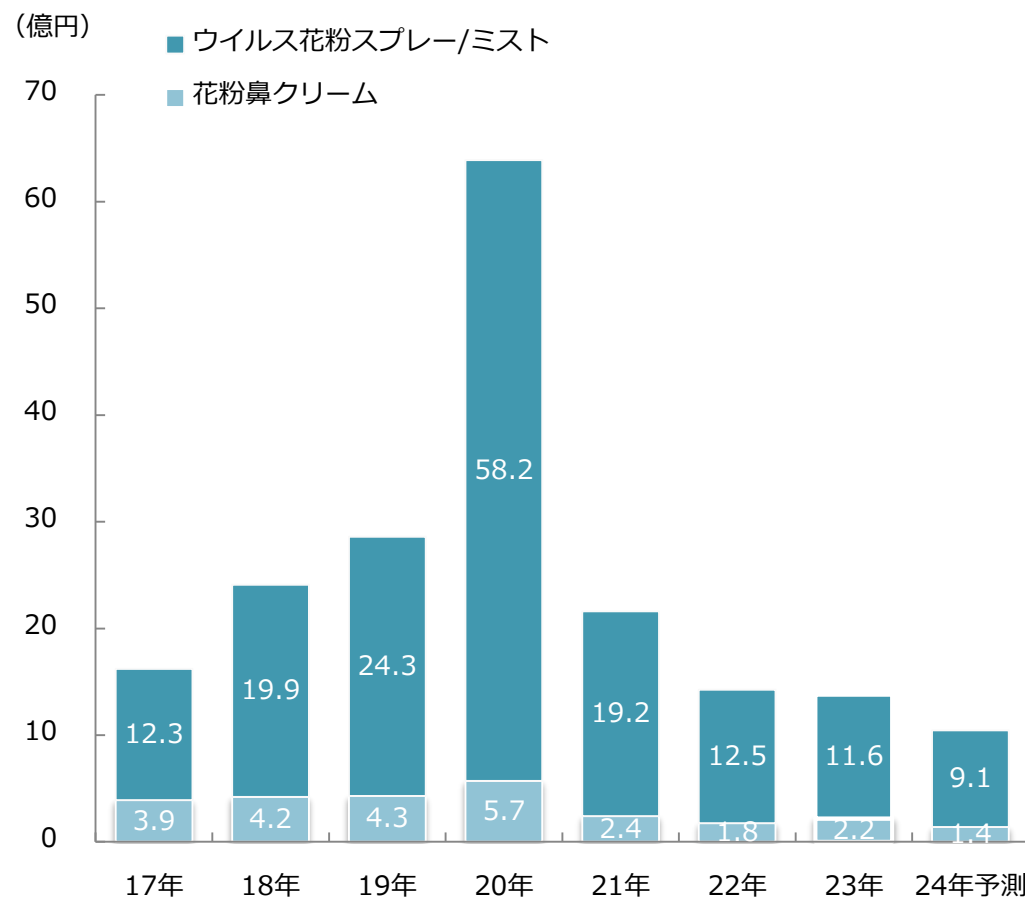
家庭用品市場規模—除菌剤・花粉

除菌剤市場

(当社関連商品)

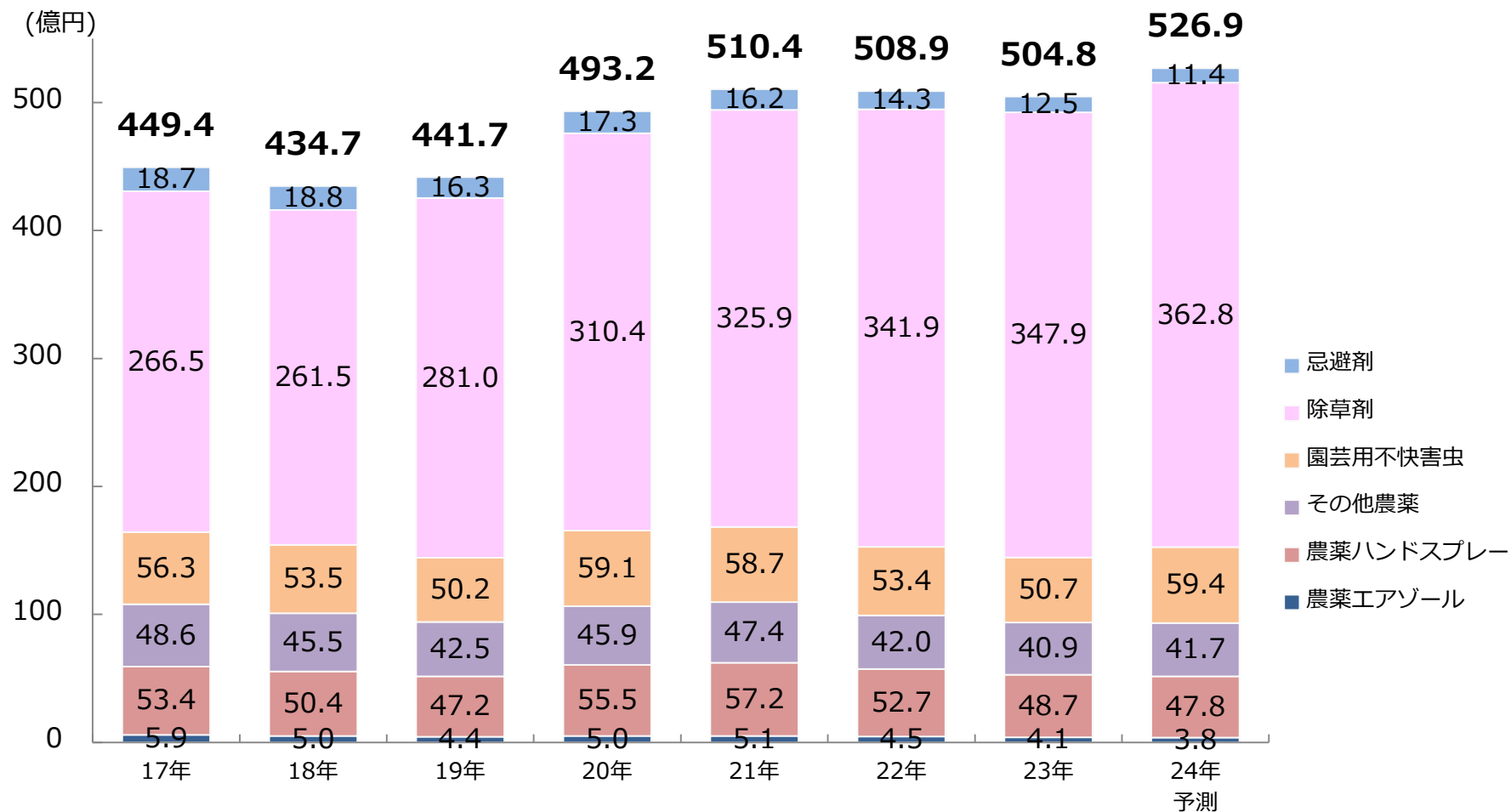


アレルギー関連市場



園芸用品市場規模

園芸用品市場



新製品売上寄与率15%超目標

